

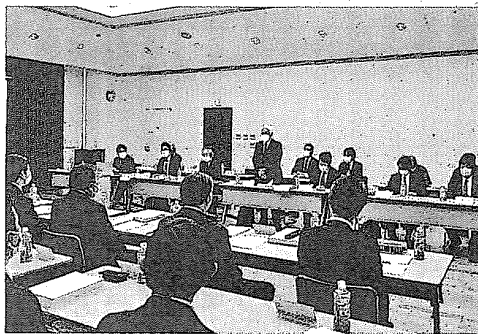
【熊本】（一社）建設コンサルタント協会九州支部（田中清支部長）は1日、熊本市との意見交換会「写真」を熊本市中央区の桜の馬場城彩苑で開催し、熱中症対策に係る費用の取り扱いや業務成績評定制度的などについて議論を交わした。熊本市との意見交換会には建コン協から田中支部長をはじめ尾長谷孝之副支部長、支部理事、地元会員らが参加。市からは契約監理部の清水健介部長、都市建設局土木部の米村浩介部長ら関係部署の幹部職員らが対応した。

## 熱中症対策費の検討要望

建コン協九州、熊本市と意見交換

### 成績評定制度は試行を継続

務成績評定制度の導入・公表および表彰制度▽総合評価落札方式の試行▽電子契約書の導入の4



項目を設定。

このうち、熱中症対策に係る費用の取り扱いについては、建コン協が市発注工事で試行されている現場管理費の補正に準じるような仕組みを測量業務やボーリング調査での熱中症対策費用として検討するよう要望。市は、国からの通知がない

見交換会で市から4年度まで試行して、5年度から本格導入する方針が示されていたが、検証した結果、部署ごとにはらつきがあり、適正な評価ができていないとして、試行期間を5年度まで延長して、上手くいけば6年度から導入する考えを示した。また表彰制度につ

ので対応は難しいと回答。ただ工事については国の指導通知があるので、今後、それをコンサルタント業務にどう生かしていくか検討を進めていくとした。

このほかでは、設計案件明示チェックシートの活用を要望。チェックシートを作成することで予備設計から実施設計に移行する際のミスが少なくなり、業務がスムーズに進むと提案。なお建コン九州支部では、この要望を今年度の重点施策として積極的な提案活動を展開している。

業務スケジュール管理表についても、これを用いることで発注者間で業務の進捗状況を「見える化」することができるとし、市でも導入を求めた。BIM/CIMを含めたDX推進については、ロードマップを示してほしいと要望。市は、他自治体を参考に検討していくと回答した。

会時に、歩掛見積もり聴取時の予定価格について、熊本市でも「平均値」に変更するよう提案した件について、今年4月から熊本市と熊本県で異相値を排除した「平均直下」に改訂されたことが報告された。